

## Injury Alert (傷害速報)類似事例

## No.63 加熱式タバコの誤飲の類似事例

事例	年齢：1歳4か月 性別：男 体重：8.9kg 身長：78.7cm	
傷害の種類	異物誤飲	
原因対象物	加熱式タバコ (写真1)	
臨床診断名	タバコ誤飲	
医療費	19,570円	
発生状況	発生場所	自宅リビング
	周囲の人・状況	母はキッチンで調理していた。キッチンはオープンキッチンであり、児は母から確認できる位置にいた。父は、児を挟んで母と反対側のリビングで片付けをしていた (児からは約2m離れた場所)。
	発生年月日・時刻	2016年8月5日 午後8時50分
	発生時の詳しい様子と経緯	本児はリビング内のテーブルチェア (高さ70cm) に座っていた。テーブルチェアから60cmの距離に同じ程度の高さの棚があり、棚上に父の加熱式タバコ (残り1本) の箱が透明フィルムは除かれ蓋が容易に開いた状態で置いてあった。棚の端からタバコ箱までの距離は60cmであったが、テーブルチェアから身を乗り出し、手をいっぱい伸ばした状態になると手がタバコ箱に届く位置にあった。午後8時50分、テーブルチェアに座った状態の児が口をモゴモゴと動かしているのに母が気づき、母がその事実をすぐに父に伝え、父が確認すると児の口腔内にタバコが入っていた。口腔内にあったタバコは数ミリ程度であり、タバコ1本の半分以上はテーブルチェアの上に残っていた。すぐに父が指で掻き出し、口腔内のタバコは全て掻き出した。同日、当院救急外来を受診した。テーブルチェアにはベルトがなく、普段からチェア上に立ち上がることがたびたびあったとのこと。
治療経過と予後	受診時、誤飲後1時間で、特記すべき症状はなく、バイタルサインや身体所見に異常を認めなかった。自宅での経過観察を指示し、傷害予防教育を実施し帰宅とした。	



写真1